



グループ通信

発行/ふれディアグループ本部 編集部

〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4

朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017

こんにちは、ふれディア通信編集部です。春真っ盛り、いよいよ本格的なお出かけシーズンですね。とはいえ、GWの大型連休を控えているこの時期は、“近場を楽しむ”という方が多いかもしれません。車でドライブをする場合には、休憩スポットとして「道の駅」を利用する方も多いと思います。今年は、「道の駅」が誕生してからちょうど30年。初めて「道の駅」の登録が行われた4月22日は、「道の駅の日」に制定されています。この始まりは1990年、地域活性化シンポジウムの参加者の一人が、「道路にも鉄道駅のようにトイレがあったらいい」という発言が発端でした。確かに、コンビニなどのお店でトイレを借りるよりも、気兼ねなく済みますよね。地域活性化シンポジウムでの発言から始まったこのプロジェクトは、「地域とともに作るにぎわいの場を作ること」が基本コンセプトになりました。そのため、「道の駅」には、“休憩・情報発信・地域連携”の3つの機能が求められているのだそうです。さらに、東日本大震災を機に、防災拠点として整備する「防災道の駅」の制度もはじまっています。いろいろな機能が期待されている施設なんですね。現在では全都道府県に「道の駅」があって、全国で1198か所もあるそうですよ。さて、そんな「道の駅」は、どんな目的で利用する人が多いのでしょうか。「道の駅」の中に置いてある“フリーペーパー道の駅”によると、特産品や生鮮農産物の買い物が目当てのお客さんが最も多いそうです。トイレ休憩がメインではないんですね！お客さんの年代層は、家庭のお財布と台所を気に掛ける年代が多く、トップは50代だとか。充実した品揃えには、目移りしてしまう楽しさがありますよね。旅行情報サイトには必ずと言っていいほど「道の駅」の人気ランキングがありますし、旅行情報誌には「道の駅」だけの特集号もあります。有名ブランドのお店が併設されていたり、風光明媚な場所だったり、特産品のおいしい料理が楽しめたり、小さな子ども楽しめる遊具や広場などの施設が併設されていたりして、「道の駅」は休憩場所からドライブの目的地になってきているようです。この春は“道の駅巡り”を楽しむのもいいかもしれませんね。では、体調をしっかりと整えて、元気にお過ごしください。

ふれディア通信編集部



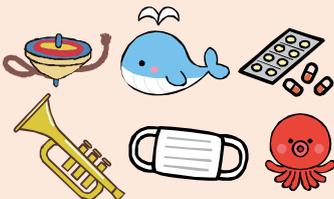
“脳トレーニング”で脳年齢を若く・脳を活性化！

イラストをしりとりでつないでみましょう！



各問題のイラストはしりとりでつなぐことができます。ただし、**1つだけ使わないイラスト**があります。「しりとりの順番」と「使わないイラスト」を考えてみましょう。

出題イメージ

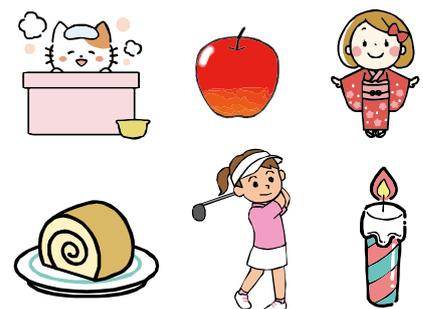


たこ→こま→マスク→
くじら→ラッパ
使用しないイラスト くすり

問題1



問題2



：“解答”は他のページに載っています。答えがわかるまでじっくり考えることが脳の活性化につながります！：